平成26年6月期（平成26年2月24日～平成26年6月8日）決算短信

平成26年7月14日

ファンド名 MAXIS Jリート上場投信
 コード番号 1597
 連動対象指標 東証REIT指数
 主要投資資産 投資証券
 売買単位 10口
 管理会社 三菱UFJ投信株式会社
 代表者名 取締役社長 金上 孝
 問合せ先責任者 商品ディスクロージャー部長 井上 靖

上場取引所 東証

URL <http://www.am.mufg.jp/>

TEL (03)6250-4910

有価証券報告書提出予定日 平成26年 9月 5日
 分配金支払開始予定日 平成26年 7月 17日

I ファンドの運用状況

1. 平成26年6月期の運用状況（平成26年2月24日～平成26年6月8日）

(1) 資産内訳

(百万円未満切捨て)

	主要投資資産		現金・預金・その他の資産 (負債控除後)		合計（純資産）	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
平成26年6月期	9,190 百万円	(99.2) %	71 百万円	(0.8) %	9,262 百万円	(100.0) %

(2) 設定・交換実績

	前計算期間末 発行済口数(①)	設定口数(②)	交換口数(③)	最終計算期間末 発行済口数 (①+②-③)
平成26年6月期	— 千口	5,956 千口	— 千口	5,956 千口

(3) 基準価額

	総資産 (①)	負債 (②)	純資産 (③(①-②))	100口当たり基準価額 (③/最終計算期間末発行済口数)×100
平成26年6月期	9,297 百万円	35 百万円	9,262 百万円	155,487 円

(4) 分配金

	10口当たり分配金
平成26年6月期	114 円

2. 会計方針の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
 ② ①以外の変更 無

II 財務諸表等

【MAXIS Jリート上場投信】

(1) 【貸借対照表】

	当期 [平成26年6月8日現在]	
	金額(円)	
資産の部		
流動資産		
コール・ローン		67,058,122
投資証券		9,190,721,450
派生商品評価勘定		247,332
未収入金		1,305,452
未収配当金		35,425,167
未収利息		325
差入委託証拠金		2,649,000
流動資産合計		9,297,406,848
資産合計		9,297,406,848
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定		131,468
前受金		125,800
未払収益分配金		31,571,570
未払受託者報酬		459,228
未払委託者報酬		2,410,913
その他未払費用		491,116
流動負債合計		35,190,095
負債合計		35,190,095
純資産の部		
元本等		
元本	※1	8,893,651,700
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金(△)		368,565,053
(分配準備積立金)		(586,480)
元本等合計		9,262,216,753
純資産合計		9,262,216,753
負債純資産合計		9,297,406,848

(2) 【損益及び剰余金計算書】

	当期 自平成26年2月24日 至平成26年6月8日	
	金額(円)	
営業収益		
受取配当金		38,194,722
受取利息		1,918
有価証券売買等損益		344,272,515
派生商品取引等損益		1,473,184
営業収益合計		383,942,339
営業費用		
受託者報酬		468,372
委託者報酬		2,458,915
その他費用	※1	629,213
営業費用合計		3,556,500
営業利益		380,385,839
経常利益		380,385,839
当期純利益		380,385,839
一部交換に伴う当期純利益金額の分配額		—
期首剰余金又は期首欠損金(△)		—
剰余金増加額又は欠損金減少額		22,232,874
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額		22,232,874
分配金	※2	34,053,660
期末剰余金又は期末欠損金(△)		368,565,053

(3) 【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1 有価証券の評価基準及び評価方法	投資証券は移動平均法に基づき、時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として金融商品取引所等における終値で評価しております。
2 デリバティブ等の評価基準及び評価方法	先物取引は個別法に基づき、金融商品取引所等における清算値段で評価しております。

(貸借対照表に関する注記)

	当期 [平成26年6月8日現在]
※1 期首元本額	—
期中追加設定元本額	8,893,651,700円
期中一部交換元本額	—
2 受益権の総数	5,956,900口
3 1口当たり純資産額 (100口当たり純資産額)	1,554.87円 (155,487円)

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

当期（自平成26年2月24日 至 平成26年6月8日）

※1 その他費用
上場費用および商標使用料等を含んでおります。

※2 分配金の計算過程

(自平成26年2月24日 至 平成26年3月8日)		
当期配当等収益額	A	2,709,785円
分配準備積立金額	B	—
配当等収益合計額	C=A+B	2,709,785円
経費	D	178,726円
当ファンドの分配対象収益額	E=C-D	2,531,059円
収益分配金金額	F	2,482,090円
次期繰越金(分配準備積立金)	G=E-F	48,969円
当ファンドの期末残存口数	H	406,900口
100口当たり分配金額	I=F/H*100	610円

(自平成26年3月9日 至 平成26年6月8日)		
当期配当等収益額	A	35,486,855円
分配準備積立金額	B	48,969円
配当等収益合計額	C=A+B	35,535,824円
経費	D	3,377,774円
当ファンドの分配対象収益額	E=C-D	32,158,050円
収益分配金金額	F	31,571,570円
次期繰越金(分配準備積立金)	G=E-F	586,480円
当ファンドの期末残存口数	H	5,956,900口
100口当たり分配金額	I=F/H*100	530円

(金融商品に関する注記)

1 金融商品の状況に関する事項

区分	当期 (自平成26年2月24日 至平成26年6月8日)
1 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」(昭和26年法律第198号)第2条第4項に定める証券投資信託であり、有価証券等の金融商品への投資を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行っております。
2 金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	当ファンドは、投資証券に投資しております。当該投資対象は、価格変動リスク等の市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクに晒されております。 当ファンドは、運用の効率化を図るために、不動産投信指数先物取引を利用しております。当該デリバティブ取引は、価格変動リスク等の市場リスクおよび信用リスク等を有しております。 また、デリバティブ取引の時価等に関する事項についての契約額等は、あくまでもデリバティブ取引における名目的な契約額または計算上の想定元本であり、当該金額自体がデリバティブ取引のリスクの大きさを示すものではありません。
3 金融商品に係るリスク管理体制	ファンドのコンセプトに応じて、適切にコントロールするため、委託会社では、運用部門において、ファンドに含まれる各種投資リスクを常時把握しつつ、ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲で運用を行っております。 また、運用部門から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っており、この結果は運用管理委員会等を通じて運用部門にフィードバックされます。

2 金融商品の時価等に関する事項

区 分	当期 [平成26年6月8日現在]
	1 貸借対照表計上額、時価及びその差額
2 時価の算定方法	売買目的有価証券は、（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。デリバティブ取引は、（デリバティブ取引等関係に関する注記）に記載しております。上記以外の金融商品（コールローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。
3 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

(有価証券関係に関する注記)

売買目的有価証券

種 類	当期 [平成26年6月8日現在]
	最終計算期間の損益に含まれた評価差額(円)
投資証券	337,957,713
合 計	337,957,713

(デリバティブ取引等関係に関する注記)

取引の時価等に関する事項

投資証券関連

区 分	種 類	当期 [平成26年6月8日現在]			
		契 約 額 等 (円)		時 価 (円)	評 価 損 益 (円)
			うち1年超		
市場取引	不動産投信指数先物取引 買建	71,105,200	—	71,231,000	125,800
	合 計	71,105,200	—	71,231,000	125,800

(注) 時価の算定方法

- 1 先物取引の時価については、以下のように評価しております。
原則として、直近の日の主たる取引所の発表する清算値段または終値で評価しております。このような時価が発表されていない場合には、最も近い終値や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。
- 2 先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。
- 3 契約額等には手数料相当額を含んでおりません。

(関連当事者との取引に関する注記)

該当事項はありません。